



菊陽町議会議員

/活/動/報/告/

大久保あきら通信

2020.8 No.19

大久保あきら後援会事務所

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内) TEL096-233-1237

コロナ禍に対する、菊陽町独自の支援策を要望

緊急事態宣言が解除され、学校も再開となり、子供たちが元気に通学する姿を見ることができ大変嬉しく思います。また、社会経済は徐々にですが動きはじめ、少しずつ日常を取り戻しつつあるかと思えます。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症予防対策のためにさまざまな活動が制限されていることと思います。また、医療従事者の方々に敬意を表するところであります。

現在も、全国的には新型コロナウイルス感染者が連日確認されており、予断を許さない状況です。今後も、特に飲食業をはじめ多くの業界では厳しい状況が続くことが予測されます。この状況に、少しでも力になりたいと思います。

○議会全員協議会の開催を要請

2月21日熊本県内で初の新型コロナウイルス感染者が確認され、それ以降は様々なイベントが中止となり、飲食店をはじめ様々な業種に影響が出始め、また2月後半からは休校の要請がありました。その後新型コロナウイルス感染者数は増加し続け、4月7日に7都府県に緊急事態宣言がなされ、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大されました。

この間、3月の定例議会、3月30日の臨時議会(3月定例議会で副議長の辞職があったため、副議長の選挙等がおこなわれた)以降、5月1日の町執行部からのコロナ対策に関する説明が行われた全員協議会まで、菊陽町議会の会議が行われることはなく、また5月1日以降も議会としての取り組みが出来ていない状況であると感じ、町独自の支援策を協議・検討するため、5月11日に私を含む議員4名による連署で「新型コロナウイルス感染症対策関連支援事業に関する全員協議会開催の要請」を議長あてに提出。5月18日に全員協議会の開催となりました。

○町への要望書提出へ

上記の通り、全員協議会の開催要請により5月18日に全員協議会が開催され、町独自の支援策を検討。特に最もコロナ禍による経済的な影響が大きいと思われる中小事業者への支援や全町民に対する商品券の配布等、様々な支援策について(詳細は内面へ記載)、町へ要望書を提出することとなりました。

また、私はこの会議の際に、コロナ禍によって会議を開催することそのものが難しいと判断される場合もあることなどを考え、今後の会議の開催についてweb会議システムの導入を検討するべく要望しましたが、反応は薄く活発な議論には至りませんでした。しかし、議会として、様々な問題が発生した際に速やかに協議を行うための有効な手段と考えていますので、これからもweb会議の導入についての声を挙げていきたいと思っています。

大久保あきらの一般質問

6月定例議会で新型コロナウイルス感染症対策に関する一般質問をおこないました

町内の中小事業者に対する支援について

Q 大久保: コロナ禍において、菊陽町では中小事業者への影響についてどのような調査を行ったのか。

A 経済部長: 町商工会、町内飲食店舗、ホテル、金融機関、誘致企業などから情報収集や直接の聞き取りを行った。その中で、飲食店と宿泊業が早い段階から一律に甚大な影響を受けている業種であると把握。町内の飲食店・宿泊業支援金事業として一律10万円の支給を開始した。

Q 大久保: 直接聞き取りをした件数はどれくらいか。

A 経済部長: 飲食店について2,3件おこなった。

Q 大久保: それでは少ないのではないかと。支援事業自体はありがたいと思うが、飲食業や宿泊業以外にも大きく影響を受けている事業者もあるが、支援事業はなぜこの2業種のみとなったのか。

A 経済部長: 飲食店、宿泊業が経済の影響を受けているので、町としてはそこを一番に考えた。

Q 大久保: 町民へ商品券の配布など、これからの支援についてどのように考えているのか。

A 後藤町長: 国の第二次補正予算から、菊陽町へどの程度交付されるのかによるが、取り組める事業は取り組んでいきたい。

要望 大久保: 前向きに思い切った支援事業を検討してもらいたい。



一般質問の様子は
YouTubeで
視聴できます

学校の感染防止策について

Q 大久保: 学校が再開してからの子供たちの様子は。

A 教育長: 6月1日から本格的に学校を再開した。実際に何校か拝見したが、子供たちが嬉しそうな顔をして、落ち着いた生活が出来ていると思った。教育委員会としては、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の派遣を強化しながら、子供たちの学校生活を応援していきたい。

Q 大久保: オンライン授業を推進していくということだが、タブレット等の整備の目処は。

A 教育部長: 令和2年度の早い時期に整備したいと考えている。

町職員の勤務体制について

Q 大久保: コロナ禍における町職員の勤務体制はどのようになっているか。

A 総務課長: 新型コロナウイルス感染症に町職員が感染することになれば、町民への住民サービスが滞り、場合によっては役場を封鎖しなければならない事態も考えられ、感染者を出さない取り組みは非常に重要であると考えている。全国に緊急事態宣言が発出された後、分散型勤務と時差出勤を取り入れた勤務体制をとっている。

Q 大久保: 普段の業務に加えて、コロナ禍による対策本部の設置や特別定額給付金の事業やその他の様々な支援事業など、そしてこれからは風水災が発生する可能性がある時期、これからの業務量が増えるのではないかとと思われるが、業務的な支障は来たしていないのか。

A 総務課長: 業務に支障が出ないよう、職員が一体となって対応に当たっている。

Q 大久保: 今後の勤務体制について、リモートワーク等の検討はするのか。

A 総務課長: 情報セキュリティの確保などの課題もあり、在宅でのリモートワークの実施は今のところ難しい状況。将来的には研究を進めていく必要があると思っている。

要望 大久保: 情報セキュリティに関しては、リモートワークであってもなくてもリスクはある。民間企業ではすぐに取り組んでいるところもある。実現できれば大きなメリットもあると思うので、前向きに考えてもらいたい。

コロナ禍に対する動き

この通信の1面に記載の通り、5月18日の全員協議会で議会から町への要望を行うことが決まりました。要望事項は以下の通り。

1. 町民全体に対する、町内で使える商品券の無償配布。**2.** 町内の中小事業者（農商工業者）への更なる経済的支援。**3.** 町内中小事業者に対する家賃等の補助。**4.** 町関連の税金の減免。**5.** 特別定額給付金請求における高齢者等の請求手続き支援。**6.** 保育料、学童保育料等の支援。

上記事項を5月21日に議長・副議長・議会運営委員会委員長の3名で町長へ要望を行ったとのことで、6月1日の議員連絡会にてその報告がありました。

議員連絡会での報告によると、現時点での新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付限度額が（人口1人当たりで）菊陽町は少なく、今回の要望事項である中小企業のさらなる支援策や商品券の配布等は財政的に厳しいという回答だったとのこと。

このような経過も踏まえて、私も6月議会での一般質問に臨みました。

○議会は、各種研修費と政務活動費の一部をコロナ対策資金へと提案

6月1日の議員連絡会では、議会の研修費の予算等を新型コロナウイルス感染症対策への予算とすることが提案され議論されました。

その後、6月26日の全員協議会では、議会の委員会研修費の全額と政務活動費の年額を50%返還することにより捻出できる606万円を町民への支援策として検討。

限られた予算であるが、それをどのような支援策とするかを協議した結果、町内の一人親世帯へ1万円を支給することとし、その予算執行を町長へ提案することとなりました。

○議会提案の事業も町は実施へ向けて検討

その後、7月14日に議員連絡会が開催され、町執行部も出席。国の第二次補正予算より、菊陽町への地方創生臨時交付金がどのような状況であるかの説明の後に、町執行部で検討している事業についての説明がありました。

内容は、ひとり親世帯への特別給付金（議会より提案した事業）や、全世帯へのマイバック配布などを検討している（この事業に関しては様々な意見が出ました）とのことでした。

第4回 大久保あきら町政活動報告会・意見交換会の開催を中止しました

3月29日（日）光の森町民センター「キャロツピア」会議室にて開催を予定しておりましたが、第4回 大久保あきら町政活動報告会・意見交換会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

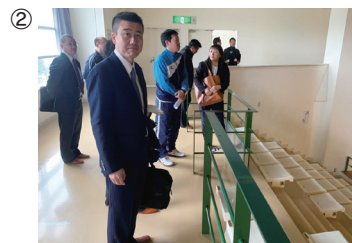
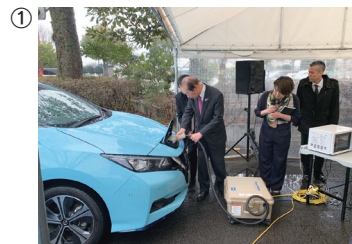
次回開催の時期は未定ですが、開催できる状況になりましたらこの通信等でご案内させていただきます。



昨年の報告会の様子

大久保あきらの主な動き

- 2月1日 菊陽町体育協会役員研修会へ参加
- 2月4日 開かれた議会に関する調査特別委員会
小杉直氏「旭日小綬章」叙勲祝賀会へ出席
- 2月7日 広報特別委員会
EVタクシーを電力源とする災害連携協定締結式後の
菊陽タクシー乗車イベントへ出席 ※①
- 2月12日 文教厚生常任委員会 行政視察研修
菊池総合体育館・山鹿カルチャースポーツセンター ※②
- 2月15日 菊陽町公民館大会へ出席
- 2月19日 大津菊陽水道企業団 令和2年第1回定例議会
- 2月20日 町長と新春のつどいへ出席
- 2月21日 広報特別委員会
熊本県内で初の新型コロナウイルス感染者確認
- 2月28日～3月13日 菊陽町議会 令和2年第1回定例議会
- 3月25日 菊陽町商工会理事会へ参加
- 3月30日 全員協議会 令和2年 第1回臨時議会
- 4月15日 広報特別委員会
- 4月22日 広報特別委員会
菊陽町夏祭り実行委員会へ出席
- 4月24日 菊陽町商工会青年部 役員会へオブザーバーとして出席
- 4月27日 菊陽町商工会 理事・監事合同会議へ出席
- 5月1日 全員協議会
- 5月13日 大津菊陽水道企業団 全員協議会
- 5月18日 全員協議会
- 6月1日 議員連絡会
- 6月2日 菊陽町商工会青年部例会
- 6月8日～12日 菊陽町議会 令和2年第2回定例議会
- 6月26日 全員協議会
- 7月3日 広報特別委員会
- 7月8日 菊陽町商工会 広報委員会へ出席
- 7月12日 商工会青年部による災害支援活動へ参加(芦北町) ※③④
- 7月14日 議員連絡会・広報特別委員会
菊陽町商工会青年部例会
- 7月27日 文教厚生常任委員会
- 7月31日 広報特別委員会



大久保あきら プロフィール

- 昭和50年(1975年)7月2日生まれ
- 平成6年 熊本工業高等学校 情報システム科卒業
- 平成27年4月 菊陽町議会議員に初当選
- 平成31年4月 菊陽町議会議員 2期目当選
- 文教厚生常任委員会副委員長 広報特別委員 大津菊陽水道企業団議員
- 有限会社大輝不動産 代表取締役(平成16年設立)
- 家族/妻・長女・長男・母の5人。光の森1丁目に居住
- 所属団体
 - ・菊陽町商工会 理事 青年部員
 - ・菊陽町野球協会 会長
 - ・菊陽町防災士連絡協議会 会員
 - ・熊工会 代議員
 - ・熊本東倫理法人会 幹事
 - ・NPO法人 住宅債務者支援センター 理事長
 - ・日創研 熊本経営研究会 会員
 - ・日本会議 会員
 - ・夢街光の森会 相談役



大久保あきら
オフィシャルサイト



大久保あきらの活動の一環として、「大久保あきら通信」を発行させていただいてます。皆様へ議会のことを少しでも発信できるように頑張って取り組んで参りたいと思います。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。
皆様のご意見やご要望も頂ければ幸いです。

■ご意見・ご要望は後援会事務所、電話またはE-mail・LINEで
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内)

大久保あきら
LINE



▶TEL 096-233-1237 ▶E-mail ohkubo@daiki-f.co.jp

ミ 二 集 会



大久保の考えや思いを
ぜひお聴きください。
また、皆様のご意見を
いただければと思って
おります。
数人でもお声かけいた
だければ伺います。